

「放射光が拓くナノテクノロジーの世界」 シンポジウム

平成14年12月20日（金）虎ノ門パストラル（東京）において、「文部科学省ナノテクノロジー総合支援プロジェクト」放射光グループシンポジウム「放射光が拓くナノテクノロジーの世界」が、ナノテクノロジー総合支援プロジェクトセンター及びナノテクノロジー総合支援プロジェクト放射光グループの主催により開催された。

本プロジェクトは、広範な研究分野にわたるナノテクノロジー研究に関して、産学官の研究者が研究分野を越えた横断的な研究活動を効果的に研究に取り組めるよう、基礎的研究施設を共用施設として解放し支援しようとするもので、平成14年度から5年間の計画で実施されている。SPring-8と立命館大学SRセンターが支援を行っている放射光グループのほか、超高圧電子顕微鏡グループ、超微細加工、造形グループ、分子・物質総合合成・解析グループから構成され、14施設16研究機関が参画している。

今回のシンポジウムは、放射光グループによる支援内容の紹介を目的としたもので、産学官からの一般参加者159名が集まり、盛大に行われた。シンポジウムは文部科学省基礎基盤研究課材料開発室 奈良室長の挨拶に始まり、プロジェクトの概要、SPring-8及び立命館大学SRセンターの支援内容や研究成果例、利用方法などが紹介された。

特に研究成果例では、SPring-8、立命館大学SRセンターから、それぞれが持つ放射光の特性を活かした成果が紹介され、参加者の興味を引いていた。参加者に対して行なったアンケートの結果によると、本シンポジウムによりナノテクノロジー分野における放射光利用の有効性及び重要性を再認識されたようで、放射光グループによる支援に対する期待の大きさが伝わってきた。

SPring-8では、本プロジェクトにより、（財）高輝度光科学研究センター、日本原子力研究所、独立行政法人物質材料研究機構の3機関が、ナノテクノロジー研究に特化した12の支援テーマを決め、その支援テーマごとに年2回の課題を公募し、利用研究の支援を行っている。本プロジェクトの概要、支援内容、支援申込方法等の情報は、SPring-8及びSPring-8ナノテクノロジー総合支援プロジェクトホームページに掲載しているので、閲覧されたい。

SPring-8ナノテクノロジー総合支援プロジェクト支援HP
http://www.spring8.or.jp/nano_tech

<プログラム>

開会挨拶 奈良 哲（文部科学省）
ナノテクノロジー総合支援プロジェクトの紹介
野田 哲二（ナノテク総合支援プロジェクトセンター）

SPring-8におけるナノテクノロジー研究と支援の概要
壽榮松 宏仁（JASRI）

立命館大学SRセンターの概要と支援の概要
岩崎 博（立命館大学）

高輝度放射光によるナノテクノロジー関連の研究紹介
ナノ電子材料における放射光利用

小林 啓介（JASRI）

ナノテク材料の構造評価

木村 滋（JASRI）

原子層制御結晶成長のその場観察

水木 純一郎（JAERI）

物材機構専用ビームラインの非破壊汎用状態分析

福島 整（NIMS）

軟X線によるナノテク関連の研究紹介

放射光光電子分光による表面ナノ構造の電子物性

難波 秀利（立命館大学）

放射光を活用した三次元微細加工技術（SMILE）

宮野 公樹（立命館大学）

SPring-8の利用申込について

立命館大学SRセンターの利用申込について

閉会挨拶 岡本 篤彦（立命館大学）

利用研究促進部門 付
三好 忍